

# 運輸安全マネジメント取組み結果の評価

第5期(2022年4月1日～2023年3月31日)

## 1、概要

年間を通じ重大事故の発生は無かったが、物損事故1件が発生し、目標を達成することが出来なかった。しかし、危険予知トレーニング、運転基本操作の社内実技訓練については、目標回数以上を達成し、前年の6件から大幅に改善することが出来た。健康起因事故防止のため、対象者に対して人間ドック及び保健師からの特定保健指導も目標を達成し、これらにより健康起因による事故を防ぐことが出来た。乗務員の平均年齢も上がってきていることから、これからも安全運転技術向上を目的とした研修会、健康起因による事故防止を目的とした健康管理の徹底について、継続的に実施する必要がある。

## 2、年間目標/結果

No.	項目	目標	実績	判定
1	危険予知トレーニングをこれまでの年3回から6回に倍増し、安全部会時に必ず行う	年間6回実施	100%達成 年間7回実施	○
2	実技訓練を年6回完全に実施する。運転技術を向上させ接触事故を防止する	年間6回実施	100%達成 年間8回実施	○
3	健康起因による交通事故を防止する	健康起因による 事故0件	0件	○

### (1) 交通事故の結果

No.	項目	目標	実績	判定
1	人身事故	0件	0件	○
2	物損事故	0件	1件	×
3	自損事故	0件	0件	○

### (2) 運送の安全に対する投資:【目標:1,000千円 / 実績:370千円】

No.	項目	目標	結果	判定
1	危険を予知して事故を回避するためKYT活動を行う	年間6回	年間7回実施	○
2	安全運転に繋がる燃費向上のため、外部機関による実技訓練を行う	年間2回 (年間20名)	年間2回実施	○
3	安全運転技術向上を目的とした社内実技訓練を行う	年間6回	年間8回実施	○
4	荷台後方上部接触事故防止のため、バックセンサーの増設	1,000千円 (10台分)	ドラレコ設置	○
5	血圧が高めの方は保健師指導を受ける	対象者100% 実施	対象者100% 実施	○
	対象者の人間ドック受診	340千円 (17名)	340千円 (17名)	○

No.4のバックセンサーは、軽微な事故撲滅の観点から、リアルなKYTを実施するため、ドライブレコーダーの導入として実行した。ドライブレコーダーのヒヤリハット映像をKYTに活用。

### (3) 事故に関する統計(自動車事故報告規則第2条に規定される事故)

項目	目標	実績	判定
2021年度	0件	0件	○

2023年 4月1日  
山梨総合運輸株式会社  
代表取締役 樋口恵一

本社営業所